

磐田市



桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第256号 2025年9月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



桶ヶ谷沼で優雅に舞うチョウたちに会いに来ませんか

72種類のトンボの確認がある桶ヶ谷沼は「トンボの楽園」と言われていますが、トンボだけでなく、他の昆虫にとっても「楽園」で、多くの種類と多くの個体数が生息しています。その中で、チョウは68種類が確認されています。9月号では桶ヶ谷沼で見られるチョウの一部を紹介します。

アゲハチョウ科: チョウの中では大型で、うしろの翅には斜め後方に伸びる突起がある。



アオスジアゲハ



ナミアゲハ



キアゲハ



ナガサキアゲハ



クロアゲハ



モンキアゲハ

タテハチョウ科: チョウの中では中型で、成虫の前脚が退化して短くなっている。



ツマグロヒョウモン



アサギマダラ



キタテハ

セセリチョウ科：ずんぐりした^{たいけい}体型で、^{どうたい}胴体は太く、^{ふと}短く、^{みじか}頭部が大きく、^{とうぶ}翅は小さく、^{あし}脚は短い。



イチモンジセセリ



チャバネセセリ



コチャバネセセリ

シロチョウ科：モンシロチョウなどなじみ深い^{ふか}チョウが含まれる。^{ふく}幼虫はアオムシと^{ようちゅう}呼ばれている。



モンシロチョウ



モンキチョウ



キタキチョウ

シジミチョウ科：他のチョウに^{くら}比べて^{こがた}小型。多くの種で生活史の^{せいかつし}一時期に^{いちじき}アリとの^{きょうせいかんけい}共生関係がある



ウラギンシジミ



ウラナミシジミ



ベニシジミ



ムラサキシジミ



ヤマトシジミ



ルリシジミ

チョウとガの違いは、はっきりとした^{くべつ}区別はありませんが、日本では^{しよつかく}触覚の形で区別をしています。触覚の先端部が^{せんたんぶ}膨らんだ^{ふく}つくりをしているのがチョウで、触覚が先端部に行くにしたがって^{ほそ}細くなっていたり、細い毛でおおわれていたり、^{くし}櫛の^は歯のようになっていたりするのをガと呼んでいます。